昭和学士会誌　第84巻　第6号〔547-552頁，2024〕

第402回　昭和大学学士会例会（医学部会主催）

日　　時　2024年7月6日（土）13：00～16：10
場　　所　昭和大学4号館　301・302号教室
運営担当　衛生学公衆衛生学，微生物学免疫学，小児心臓血管外科学，産婦人学，
　　消化器一般外科学，皮膚科学，泌尿器科学，放射線科学，麻酔科学

研究紹介講演

1. 喘息重症化のメカニズム
～最新の知見～

昭和大学大学院医学研究科呼吸器アレルギー内科学分野
田中　明彦

この半世紀において，喘息治療に関して2つのパラダイムシフトが生じた．ひとつは吸入ステロイドであり，もうひとつは生物学的製剤（バイオ製剤）である．前者は喘息の慢性管理における絶対的第一選択薬であり，後者は重症喘息に対する切り札的な役割を果たす．いずれの薬剤も基礎医学の進歩に伴い創出された薬剤である．一方，バイオ製剤の重症喘息に対する臨床効果は，それぞれの製剤のリガンドがヒトにおける喘息重症化の機序として関与していることを証明することとなった．重症喘息に対するバイオ製剤として初めて上市されたのは抗IgE抗体のオマリズマブである．IgEが喘息の臨床診断に有用であることは周知の事実であったが，総IgEのレベルと喘息の重症度には相関はなく，IgEと喘息の重症化に疑問が持たれる時代も存在した．しかし，オマリズマブの登場は喘息の重症化にIgEが関与している事実を明らかにした．演者らは，これまでIgEと喘息の重症化についていくつかの報告を行ってきた．中でも，総IgE値の経時的上昇と重症喘息との関連性に関しては，IgEのバイオマーカーとしての新たな側面を構築することとなった．また，吸入アレルゲンの中でも，真菌感作が最も喘息の重症化と関与していることを証明した．これらの報告は，重症喘息患者における臨床検査項目の決定根拠の一つとなっている．近年は，現在5つまで増えたバイオ製剤を最善の形で患者さんに届けられる方法について多施設の共同研究を通して模索している．

2. 腸から見た精神疾患

昭和大学大学院医学研究科精神医学分野
真田　建史

およそ20年前に，腸内細菌が肥満や糖尿病等の疾患と関連するという報告がなされ，その後喘息や自閉症，パーキンソン病等の疾患や健康に関与することが報告されている．近年ではガン領域における免疫療法と腸内細菌との研究開発が急速に拡大している．しかしながら，精神科領域に関する腸内細菌の研究は遅れており，わが国ではまだ緒に就いたばかりである．

われわれは8年前から慶應義塾大学精神・神経科，慶應義塾大学先端生命科学研究所，Johns Hopkins大学精神医学部門と協働して，うつ病を中心に腸脳連関のメカニズム解明に向けて研究を進めている．当日は抗精神病薬がうつ病・不安症患者の腸内細菌に与える影響，うつ病患者の治療経過における腸内細菌及びその代謝物質の変化，うつ病患者の年齢による腸内細菌の違い，うつ病・不安症患者の睡眠と腸内細菌・その代謝物質との関係等，これまでの成果を紹介し，昨年春に発表した最新のうつ病における腸脳連関のメカニズムを概説する．さらに，わが国で初めて発達障害児における腸内細菌ならびに食事の多様性について今春発表したので報告する．

今後はうつ病患者に対する漢方による介入研究，うつ病患者の腸内と口腔内微生物に関する研究，治療抵抗性のうつ病や統合失調症患者の腸内細菌の研

究，発達障害児の腸内細菌のコホート研究，成人の発達障害患者の腸内細菌の研究および小児のそれとの比較研究等を計画している．

一般演題

1. α-シヌクレイン高分子オリゴマーによる神経細胞傷害機序の解明

[1] 昭和大学大学院医学研究科脳神経内科学分野
[2] 昭和大学薬理科学研究センター
[3] 昭和大学大学院歯学研究科口腔生理学分野
[4] 昭和大学大学院医学研究科生体制御学分野
[5] 昭和大学大学院医学研究科医科薬理学分野
[6] 昭和大学臨床薬理研究所
[7] 昭和大学医学部内科学講座脳神経内科学部門
井藤　尚仁[1]，辻　まゆみ[2]
中村　史朗[3]，安達　直樹[4]
小口　達敬[2,5]，木村　篤史[6]
門馬佑太郎[1]，野原　哲人[1]
大橋　英朗[1]，山 本　謙[5,7]
村上　秀友[1]，木内　祐二[2,5]

【発表内容掲載論文】
NPJ Parkinsons Dis. 2023;**9**:139.

2. ケトーシスにおける低血糖の有無がカルニチン欠乏状態の程度に与える影響

[1] 昭和大学江東豊洲病院こどもセンター
[2] 昭和大学医学部小児科学講座小児内科学部門
山本　和也[1]，直江千佳子[2]
金 澤　建[1]，阿部　祥英[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

3. 小児における尿中 8-OHdG 濃度測定の pilot study

昭和大学小児科学講座小児内科学部門
唐 渡　諒，阿部　祥英

【背景】近年，多くの疾患や病態にミトコンドリア機能が関与していることが指摘され，その異常を検出するバイオマーカーとして酸化ストレスマーカーの尿中 8-OHdG がある．小児における尿中 8-OHdG の研究は非常に少なく，明確な基準値も無いためデータの集積を行った．

【対象および方法】対象は当院を受診し，尿検査を施行された児 10 名である．尿中 8-OHdG は AIQL ICR-002（テクノメディカ社）で測定した．得られた値は平均値 ± 標準偏差値（SD）で示した．

【結果】年齢 4.3 ± 2.9 歳，男女比 4：6，臨床診断はインフルエンザ感染症（2 名），RS ウイルス感染症（1 名），無症候性血尿（4 名），中耳炎（1 名），慢性腎炎（1 名）健常（1 名）であった．得られた 10 検体を測定に用い，尿中クレアチニンが感度以下で測定できなかった 1 検体を除いた 9 検体のデータを集積した．得られた尿中 8-OHdG 値は 24.4 ± 18.83 ng/mg・Cr であった．年齢と尿中 8-OHdG 値の間に相関はなく，性別の違いや疾患の有無で平均値に有意差はなかった．

【考察および展望】既報では，尿中 8-OHdG の基準値は 14.2 ～ 18.1 ng/mg・Cr と報告されている．本検討では既報よりもやや高値であったが，例数が少なく，データのさらなる集積を要する．また，ネフローゼ症候群や糸球体腎炎を対象にした検討は少なく，データを集積する．

4. 活性酸素応答性分子を標的とした人工核酸による in vivo での肝線維化・脂肪化の病態抑制効果検証

[1] 昭和大学大学院医学研究科生化学分野
[2] 昭和大学細胞外マトリックス研究所
野口　雅仁[1]，宮 内　彩[2]
宮 崎　章[1,2]，金山　朱里[2]

【発表内容掲載論文】
JHEP Rep. 2024;**6**:101195.

5. 新生児ラット摘出脳幹―脊髄標本における呼吸性神経活動に対するリナロールの影響

[1] 昭和大学大学院医学研究科生体調節機能学分野
[2] 昭和大学横浜市北部病院整形外科
渋谷　友香[1]，津澤　佳代[2]
鬼丸　洋[1]，泉﨑　雅彦[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

6. 食道癌における免疫チェックポイント阻害薬単剤療法のバイオマーカー解析

[1] 昭和大学大学院医学研究科医科薬理学分野
[2] 昭和大学医学部内科学講座腫瘍内科学部門
[3] 昭和大学臨床薬理研究所臨床腫瘍診断学部門
[4] 昭和大学臨床薬理研究所臨床免疫腫瘍学部門
[5] 昭和大学大学院医学研究科薬理学講座医科薬理学部門
平澤　優弥[1,2]，鈴木梨沙子[2]
入口　菜々[2]，石黒　智之[2]
大熊遼太朗[2]，有泉　裕嗣[2]
下川　雅弘[2]，久保田祐太郎[2]
堀池　篤[2]，和田　聡[3]
吉村　清[4]，木内　祐二[5]
角田　卓也[2]

【発表内容掲載論文】
Anticancer Res. 2024;**44**:3397-3407.

7. 熱中症モデルマウスにおける筋組織変化の検討

[1] 昭和大学大学院医学研究科顕微解剖学分野
[2] 昭和大学医学部救急・災害医学講座
柳澤　薫[1,2]，宮本　和幸[1,2]
中村　元保[1]，山荷　大貴[1,2]
鈴木　恵輔[1,2]，本田　一穂[1]
土肥　謙二[1,2]

【発表内容掲載論文】
Biomedicines. 2024; in press.

8. 大腸癌肝転移症例におけるインスリン様成長因子Ⅱメッセンジャー RNA 結合タンパク質 3（IMP3）発現の検討

[1] 昭和大学大学院医学研究科臨床病理診断学分野
[2] 昭和大学江東豊洲病院消化器センター
[3] 昭和大学江東豊洲病院臨床病理診断科
北條　真鈴[1,2]，塩沢　英輔[1]
佐々木陽介[1]，保母　貴宏[2]
矢持　忠徳[1]，九島　巳樹[3]
横山　登[2]，矢持　淑子[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

9. 変形性膝関節症モデルラットにおける滑膜 ADAMTS5 の発現および関節軟骨変性に対する鍼通電の効果

昭和大学大学院医学研究科生体制御学分野
チュロウンバト　オユンチメグ
池本　英志，安達　直樹
奥茂　敬恭，砂川　正隆

【発表内容掲載論文】
Cureus. 2024;**16**:e73736.

10. ステロイドパルス療法を受けた膠原病関連疾患患者におけるサイトメガロウイルス抗原陽性化の予測因子：多施設共同後方視的コホート研究

[1] 昭和大学大学院医学研究科衛生学公衆衛生学分野
[2] 昭和大学病院皮膚科
[3] 昭和大学大学院医学研究科リウマチ・膠原病内科学分野
[4] 昭和大学医学部皮膚科学講座
井藤　遥[1,2]，吉本　隆彦[1]
小風　暁[1]，若林　邦伸[3]
末木　博彦[4]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

11. 成人アナフィラキシーの重症度上昇には加齢，飲酒，喫煙が関与している

昭和大学大学院医学研究科呼吸器アレルギー内科学分野
能 條　眞，鈴木慎太郎
宇野　知輝，宮田　祐人
田中　明彦，相良　博典

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

12. 胃内視鏡的粘膜下層剥離術における rescue scope として multibending scope が使用される臨床病理学的特徴についての検討：後ろ向き研究

[1] 昭和大学大学院医学研究科消化器内科学分野
[2] 昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門
[3] 昭和大学病院内視鏡センター
大西　良尚[1]，片 桐　敦[1]
森　大 地[1]，山﨑　裕太[1]
樋口　健佑[2]，鈴木　統大[2]
中谷　真也[2]，菊池　一生[2]
牛腸　俊彦[2]，田川　徹平[2]
居軒　和也[2]，紺田　健一[2]
東條　正幸[2]，木原　俊裕[2]
矢野雄一郎[2]，久保田祐太郎[2]
小西　一男[2]，山村　冬彦[1,3]
吉 田　仁[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

13. 早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術の鎮静にデクスメテトミジン塩酸塩併用を判断する要因の検討

[1] 昭和大学大学院医学研究科消化器内科学分野
[2] 昭和大学医学部内科学講座消化器内科学部門
[3] 昭和大学大学院医学研究科麻酔科学分野
吉田詠里加[1]，山本　頼正[2]
東畑美幸子[1]，五味　邦代[1]
岡安　理司[3]，長濵　正亞[1]

【発表内容掲載論文】
JGH Open. 2024;**8**:e13065.

14. 術後膵周囲液体貯留に対する外瘻を主体とした超音波内視鏡下ドレナージ術

[1] 昭和大学大学院医学研究科消化器内科学分野
[2] 昭和大学藤が丘病院消化器内科
野 田　淳[1]，髙野　祐一[1]
山脇　將貴[2]，新谷　文崇[2]
長濵　正亞[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

15. 周術期心筋梗塞を予測するための冠動脈アテローム性 T1 強調画像を用いた高信号プラークの迅速な 3 次元定量化

昭和大学大学院医学研究科循環器内科学分野
中 澤　幹，松本　英成
樋 口　聡，新家　俊郎

【発表内容掲載論文】
J Cardiovasc Magn Reson. 2024;**26**:100999.

16. 腎機能低下と尿沈渣に薬剤結晶が認められたケトン性低血糖症の一幼児例

[1] 昭和大学薬学部薬学科 6 年生
[2] 昭和大学江東豊洲病院薬剤部
[3] 昭和大学江東豊洲病院こどもセンター
[4] 昭和大学薬学部病院薬剤学講座
谷口　実優[1]，阿部久瑠美[2]
唐 渡　諒[3]，金 澤　建[3]
松橋　一彦[3]，百　賢 二[4]
阿部　祥英[3]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

17. 非ケトン性低血糖と同様にケトン性低血糖症においてもカルニチンは欠乏状態にあるか？

[1] 昭和大学医学部医学科 5 年生
[2] 昭和大学江東豊洲病院こどもセンター
[3] 昭和大学医学部小児科学講座
矢島　瑞己[1]，山本　和也[2]
金 澤　 建[2]，直江千佳子[3]
阿部　祥英[2]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

18. 進行性乳癌に対する緩和的放射線治療におけるGlasgow Prognostic Score（GPS）の有用性の検討

[1] 昭和大学大学院医学研究科放射線治療学分野
[2] 昭和大学医学部放射線医学講座放射線治療学部門
[3] 昭和大学大学院医学研究科放射線科学分野
[4] 昭和大学大学院保健医療学研究科医学物理教育分野
[5] 昭和大学大学院医学研究科臨床薬理学分野
小澤由季子[1]，小 林　 玲[2]
村上　幸三[3]，加藤　正子[2]
新谷　暁史[1]，西村　恵美[2]
今 井　 敦[1]，新城　秀典[1]
宮浦　和徳[4]，豊福　康介[5]
関本　篤人[5]，加賀美芳和[2]
伊藤　芳紀[1]

【発表内容掲載論文】
投稿中または今後投稿予定

19. 変形性膝関節症に対する多血小板血漿治療における短期臨床成績と予後予測因子の検討

[1] 昭和大学大学院医学研究科整形外科学分野
[2] 昭和大学江東豊洲病院整形外科
[3] 昭和大学藤が丘病院整形外科
[4] 昭和大学大学院医学研究科生体制御学分野
太田　真隆[1,2,3]，奥茂　敬恭[4]
佐 藤　 敦[1,2,3]，永坂　玲央[3]
椋木　毬花[3]，　 嚴樫香名子[4]
大 池　 潤[3]，　 矢倉　沙貴[3]
古屋　貴之[1,2,3]，白旗　敏之[1,2]
神﨑　浩二[1,3]

【発表内容掲載論文】
Cureus. 2024;**16**:e57645

20. Shear wave elastography を用いた分娩第 3 期の子宮収縮と弛緩出血の評価

[1] 昭和大学大学院医学研究科産婦人科学分野
[2] 昭和大学横浜市北部病院産婦人科
[3] 聖マリアンナ医科大学大学院周産期発生病態解明学分野
[4] 昭和大学医学部産科婦人科学講座
奥山亜由美[1,2]，長谷川潤一[3,4]
瀬尾　晃平[2,4]，イズデプスキ　龍也[1,2]
後藤未奈子[1,2]，関沢　明彦[1]
市塚　清健[1,2]

【発表内容掲載論文】
Diagnostics（*Basel*）. 2024;**14**:1490.

21. Synergy の術後早期成績の検討

昭和大学大学院医学研究科眼科学分野
吉見　翔太，恩田　秀寿

【発表内容掲載論文】
IOL&RS. 2023;**37**:398–406.

22. そろばん式暗算学習アプリケーションによる地域高齢者の認知機能改善効果

昭和大学大学院医学研究科リハビリテーション医学分野
髙岡　哲也，橋本　圭司
川手　信行

【発表内容掲載論文】
PLoS One. 2024;**19**:e0299201.

23. 取り下げ

24. 臓器・組織提供が記載された蘇生処置に関する説明文書のカルテ記載に対する有効性の検証：無作為化比較試験

[1] 昭和大学大学院保健医療学研究科医系基礎・専門・教育分野
[2] 昭和大学 IR 室
[3] 昭和大学大学院保健医療学研究科看護分野
熊沢　真弓[1]，下司　映一[1,2]
安部　聡子[1]，福地本晴美[3]
藤後　秀輔[3]

【発表内容掲載論文】
Showa Univ J Med Sci. 2024; in press.